

チコリーの根株養成法と軟化条件

1. 試験のねらい

チコリーはレタスの近縁で、ヨーロッパの主要な野菜である。利用部位や形態により多様な品種群がある。ここで扱う軟化利用のチコリーは、日本人の食嗜好の多様化の中で需要の伸びの著しい輸入野菜である。近年、国内生産も行われているが、輸入ものに比べ軟化品質が劣るといわれている。このため、国内での栽培技術の確立について検討した。

2. 試験方法

- (1) 根株養成の栽植密度と施肥 第1図のように栽植密度と施肥量（基肥Nの有無）を組み合わせた計10処理区で検討した。（供試品種 ZOOM 平成元年7月20日播種、12月20日掘上げ、12月28日無覆土軟化18℃22日間）
- (2) 播種期 第2図のように6月30日から8月30日までの7回の播種期で検討した。（その他の耕種概要は(1)に準ずる）
- (3) 根株の掘上げ時期 第1表のように掘上げ時期と5℃貯蔵を一部組み合わせた10処理区を設けて検討した。（その他の耕種概要は(1)に準ずる）
- (4) 軟化培地 第2表のように品種と培地を組み合わせた6処理区を設けて検討した。（平成2年8月3日播種、12月26日掘上げ、12月26日無覆土軟化16℃35日間）
- (5) 軟化土壌水分 第3表のように品種と土壌水分を組み合わせた6処理区を設けた。（耕種概要は(4)に準ずる）

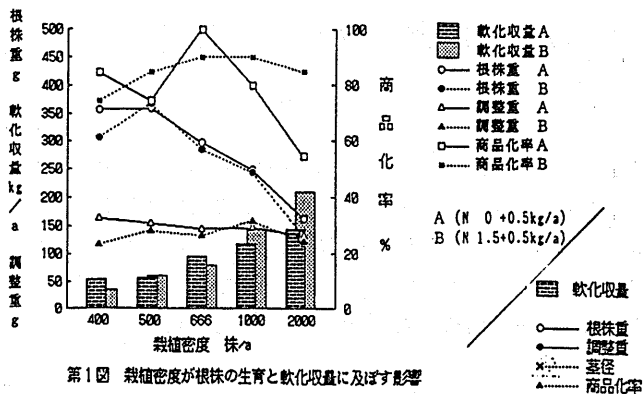
3. 試験結果および考察

- (1) 根株養成の栽植密度は、根株重150～350gの範囲で軟化品質に差のなかったことから軟化収量の多いa 当たり1000～2000株の密植が良いと考えられた。施肥Nは、基肥N 0～0.5、追肥 0.5Kg/a で問題なかった。（第1図）
- (2) 播種期は、県内平坦地で6月末～7月末と考えられた。（第2図）
- (3) 根株の掘上げ時期は、県内平坦地の7月20日播種で11月中旬12月中旬の間にあると考えられ、早期掘上げ軟化では結球が劣り、掘上げが遅いと結球が良くなるものの凍害による根株の腐敗が増加した。（第1表）
- (4) 軟化培地は、火山灰土、ビートモスで結球率・商品化率がやや優れたが、品種によりBlue loof、チップバーン等の生理障害が多発した。（第2表）
- (5) 軟化土壌水分は、多水分でBlue loof、少水分でチップバーンの発生率が高くなる傾向がみられ、品種間差が著しかった。これらの発生率の低い“ZOOM”を用いた場合、pF1.8～2.0で結球が優れ適当と考えられた。（第3表）

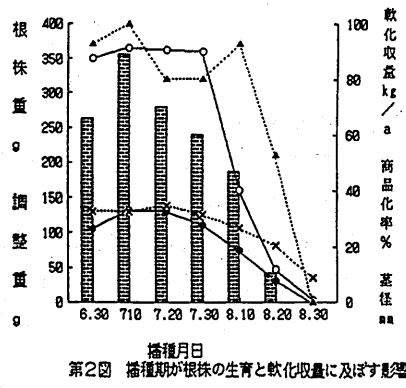
4. 成果の要約

チコリーの根株養成法及び軟化培地条件について検討した。根株はa 当たり1000～2000株の栽植密度で6月末～7月末に播種し11月下旬～12月上旬に掘上げ、軟化は火山灰土かビートモスでpF1.8～2.0が良い。

（担当者 野菜部 深澤郁男）



第1図 栽植密度が根株の生育と軟化収量に及ぼす影響



第2図 播種期が根株の生育と軟化収量に及ぼす影響

第1表 根株の掘上げ・軟化時期が根株重と軟化収量・品質に及ぼす影響(1991)

No.	処 理		根 株			チ コ ン			結球 ^b 指数	腋芽発 生株率	フヅ ^a ハートン 発生株率	腐敗 株率	病害 株率
	掘上げ月日	5℃貯蔵	根株重	茎径	収穫率	調整重	商品化率 ^a	軟化収量					
1		無	135g	25mm	%	0g	-%	0kg	1.0	0%	67%	0%	42%
2	10. 21	10日間	142	25	100	97	42	27	1.9	0	58	0	8
3		20日間	129	26		69	58	27	2.2	8	42	0	25
4		無	269	33		91	50	30	3.0	0	100	50	58
5	11. 20	10日間	249	33	100	139	42	39	1.8	0	25	0	0
6		20日間	238	32		83	50	28	2.8	0	25	17	17
7		無	300	36		76	87	28	3.0	8	0	7	13
8	12. 21	10日間	309	36	63	111	67	31	2.9	0	0	0	7
9		20日間	290	34		116	100	49	3.0	87	0	0	0
10	1. 27	無	240	33	20	106	80	11	2.6	20	0	0	0

a 商品化率=(結球緊+結球弱)/軟化株数*100

b 結球指数=((結球緊*4) + (結球弱*3) + (結球不良*2) + (不結球*1)) / 軟化株数*100

第2表 軟化培地が収量・品質に及ぼす影響(1992)

No.	品 種	培 地	根 株		チ コ ン			(a)/ (B)	商品 ^a 化率	結球 ^b 指数	腐敗 ^c 株率	Blue loof ^d 発生株率	チャブ ^e ハ ^e ン 発生株率	心部褐 変株率
			根株重	茎径	調整重	長さ(A)	太さ(B)							
1	ZOOM	火山灰土	112g	24mm	106g	12.7cm	4.5cm	2.8	90%	3.4	0%	10%	0%	25%
2		もみがら	112	24	90	13.4	4.4	3.0	80	2.7	5	0	0	5
3		ビートモス	104	23	70	10.9	4.2	2.6	85	3.3	5	0	10	20
4	FLASH	火山灰土	141	24	87	10.0	4.5	2.2	66	3.6	0	27	7	27
5		もみがら	140	25	99	11.6	4.8	2.4	53	3.6	13	36	0	0
6		ビートモス	147	25	91	10.8	4.8	2.3	60	3.9	13	0	40	0

a 商品化率=(結球緊+結球弱)/軟化株数*100

b 結球指数=((結球緊*4) + (結球弱*3) + (結球不良*2) + (不結球*1)) / 軟化株数*100

c Blue loof: 葉脈維管束が黒変する生理障害で葉が青くみえる。

第3表 軟化土壌水分が収量・品質に及ぼす影響(1992)

No.	品 種	土壌水分	根 株	チ	コ	ン	(a)/	商品	結球	腐敗	Blue loof	心部褐		
			根株重	茎径	調整重	長さ(A)	太さ(B)	(B)	化率	指数	発生株率	発生株率	変株率	
1		pF 1.6	93g	23mm	113g	15.1cm	4.4cm	3.4	60%	2.7	0%	20%	0%	10%
2	ZOOM	pF 1.8	112	24	106	12.7	4.5	2.8	90	3.4	0	10	0	25
3		pF 2.0	85	22	60	10.6	3.8	2.8	80	3.3	5	15	0	5
4		pf 1.6	143	25	140	12.4	5.1	2.4	20	3.4	7	80	0	27
5	FLASH	pF 1.8	141	24	87	10.0	4.5	2.2	66	3.6	0	27	7	27
6		pF 2.0	145	26	73	10.2	4.3	2.4	0	3.0	0	40	80	27